

高齢者がん患者の看護に関する研究

研究分担者 作田裕美 大阪市立大学大学院看護学研究科 教授

研究要旨

【目的】①「高齢者がん医療コンソーシアム」設置に向け日本がん看護学会の協力体制作り、②高齢者がん医療 Q&A/支持・緩和治療/「リンパ浮腫」の作成、③高齢者がん患者の看護の動向と課題を明らかにすることとした。

【方法】①日本がん看護学会理事長への説明と依頼、ならびに日本がん看護学会理事会での審議、②「リンパ浮腫」文献と臨地実践内容を踏まえ執筆、③文献検討を行った。

【結果】①日本がん看護学会は「高齢者がん医療コンソーシアム」に参画することを決定し、委員1名を推薦した。②「リンパ浮腫」作成、③国内文献132件、国外文献295件を分析対象とした。対象とした文献の約9割はがんの高齢者に治療が安全に行えたというものであった。高齢者がん患者の看護基準に関する研究は見当たらなかった。

A. 研究目的

①「高齢者がん医療コンソーシアム」設置に向け、日本がん看護学会に対し協力体制に向けた調整を行う。②高齢者がん医療 Q&A の支持・緩和治療の「リンパ浮腫」を作成する。③文献検討により高齢者がん患者の看護の現状と課題を明らかにする。

B. 研究方法

①日本がん看護学会理事長に対し「高齢者がん医療コンソーシアム」設置について説明を行い、設置に向けた本学会からの協力を依頼した。次に、日本がん看護学会2019年度第2回理事会にて、2019年1月19日開催の「高齢者がん医療コンソーシアム」と運営委員の推薦について審議に諮った。②「リンパ浮腫」文献と臨地実践内容を踏まえ執筆し、日本がんサポーターズケア学会リンパ

浮腫部会員の査読実施を行う。③国内文献は「医学中央雑誌web版」を用い、キーワードを「高齢者」and「腫瘍」and「看護or看護ケアor“保健医療の施設 人的要因 サービス”」で検索し、原著論文に絞り込んだ。国外文献検索は「MEDLINE」を用い、検索キーワードを「Aged」and「Neoplasms」and「Nurses」and「Nurse or Nursing care or Health care facilities,manpower,and services」とした。検索日は、2019年3月12日であった。ともに過去10年に限定して検索した。(倫理面への配慮)

②③文献の著作権の侵害にあたらないように留意し、引用は原文を用いるとともに、引用文献名及び引用文献箇所を明確に記述した。

C. 研究結果

①日本がん看護学会は「高齢者がん医療コンソ

ーシアム」に参画することが決定され、国立看護大学校の綿貫成明氏が「高齢者がん医療コンソーシアム」の委員として推薦された。運営委員の推薦については、綿貫氏に推薦いただき次回理事会に諮ることが確認された。②日本がんサポートケア学会リンパ浮腫部会員からの意見を取り入れて吟味し、加筆修正後完成させた。③国内文献 132 件、国外文献 295 件を分析対象とした。対象とした文献の約 9 割は高齢者がん患者に治療が安全に行えたというものであった。高齢者がん患者の看護基準に関する研究は見当たらなかった。

D. 考察

①「高齢者がん医療コンソーシアム」に参画する看護系の学会は日本がん看護学会のみであることから、日本がん看護学会が主体となり高齢者がん患者の看護の質保証を目指していかなければならないと考える。

②エビデンスが少ないため、高齢者のリンパ浮腫患者に関する研究を実施することが急がれる。

③がん患者の長期生存、超高齢社会の進展に呼応してがん患者は高齢化し、新規知識の吸収困難や加齢に伴う運動器の機能低下から、セルフケア能力が著しく低下している現実がある。このような加齢現象に対応する看護実践を行うことは重要な視点であるにもかかわらず、これまで小児や妊産婦以外は“患者”とひとくくりにして、看護を行ってきた。高齢者がん患者の看護の特徴を抽出し青年期・成人期のがん患者とは明確に線引きを行い、高齢者の其々の状態に応じた看護が提供できるように、高齢者がん看護基準を構築する必要がある。

E. 結論

- ①「高齢者がん医療コンソーシアム」の日本がん看護学会の協力体制がひとまず整った。
- ②高齢者がん医療 Q&A/支持・緩和治療/「リンパ浮腫」は完成した。
- ③高齢者がん患者の看護現状の問題は未だ明確にされていないが、超高齢社会の進展に呼応して、看護基準の作成が急がれる。

G. 研究発表

<その他>

- 北村薫・作田裕美・他, エビデンスに基づいたリンパ浮腫実践ガイドブック; 基本手技と患者指導, 基礎編 5 章リンパ浮腫の治療方針と患者指導・実践編 3 章スキンケア・実践編 6 章ストレスマネジメントと他症状, へるす出版 (59-75, 171-177, 197-208), 2018
- 荒尾春恵・飯野京子・作田裕美・他, 第 2 版がん看護学, 第 11 章 症状マネジメント リンパ浮腫/第 12 章 補完代替療法 栄養療法, スーヴェルヒロカワ (262-267, 294-296), 2018
- 外部評価委員; 作田裕美・他, 日本リンパ浮腫学会編集, リンパ浮腫診療ガイドライン 2018 年版, 金原出版(全文評価), 2018
- 作田裕美, がん治療後のリンパ浮腫②リンパ浮腫外来の役割とその実践, 新薬と臨床, 68(3), 379-382, 2018